

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	外国語とその運用（独）		
英文授業科目名	Foreign Languages and Practice		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 まり子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：その国の言語はその国の文化です。いまはインターネットなどで即座にその国の情報がとれます。そのときに役立つのはドイツ語を読む力です。情報をとるためのドイツ語の訓練です。</p> <p>(b) 達成目標：ドイツ事情をしるための中・上級の文章読解力を養う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
初級ドイツ語

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
2年のドイツ語授業：独語演習、独語運用演習

【教科書等】
教科書：アンドレア・ラブ、石井寿子『時事ドイツ語＜'04年トピックス＞』（朝日出版）

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

ドイツ語の新聞や雑誌は、初級文法を終えたばかりでいきなり読むのはもちろん、一応2年間のドイツ語を身につけていても難しい場合があるので、その橋渡しとして書き下ろされたテキストを使用してドイツ語力をつける。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

期末試験および平常の演習成績（これにはもちろん出席率が密接に関係する）の結果を総合的に評価する。

(b) 評価基準：

文法的に正しく文章構造を理解して、その上で訳をできることをもって最低達成基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

授業前後に教室あるいは本館一階非常勤講師控え室にて。

緊急に連絡をとりたいときは湯川教授（t-yukawa@bunka.uec.ac.jp）にメールで連絡をとること。

【学生へのメッセージ】

やり始めたら授業はさぼらないこと。

【その他】